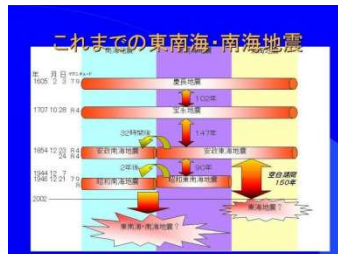


## 津波・高潮ステーションと大阪科学技術館 見学

平成24年3月2日 津波・高潮ステーション 10:00～11:15

「津波・高潮ステーション」は大阪府西大阪治水事務所が所管する防潮堤や水門の津波・高潮防御施設の一元管理を行う「防災棟」と、府民の防災意識の向上を目的とした「展示棟」を併せ持つ施設で、かつて大阪を襲った高潮や、近い将来必ず大阪を襲うと言われている東南海・南海地震とともに、地震、津波発生時の対応などを学べる、広く開かれた施設で、3.11以来全国各地より見学者が多数訪れているという。



しと降る雨の中41名の参加を得、まず17分間の津波・高潮に関するガイダンス映像で大阪は海水より下にあること、その対策としての水門、防潮堤の働きを鑑賞の後二班に分かれ、過去大阪を襲った三大台風による高潮被害、高潮防災施設の働き、津波災害を経験した先人が私たちに残してくれた歴史の教訓等を学び、「津波災害体感シアター」で上下左右から襲ってくる津波の恐怖を体感し、避難指示が出された時の速やかな避難の大切さを実感した。



大阪科学技術館

12:00～14:30

大阪科学技術館は「科学技術でひらこう、地球のあした」をテーマに、最新の科学技術を展示しており、私たちの暮らしの中に生かされているエネルギー、エレクトロニクス、バイオテクノロジー、地球環境など、さまざまな分野の最新の科学技術をクイズやゲーム、マルチメディアで楽しく学べる。



環境科 大阪科学技術センター 2012.3.2

館内で昼食後、企業・団体が工夫を凝らしたブースを三々五々見学したあと、非破壊検査株式会社の取締役技術本部安全工学研究所所長永井辰之氏より「非破壊検査の基礎及び最近の非破壊検査技術」というテーマでの講座を受けた。



内容はかなり専門的であったが、今までとは違う角度からの講座は大変勉強になり、時間が超過しても質問が途絶えないほど好評だった。

